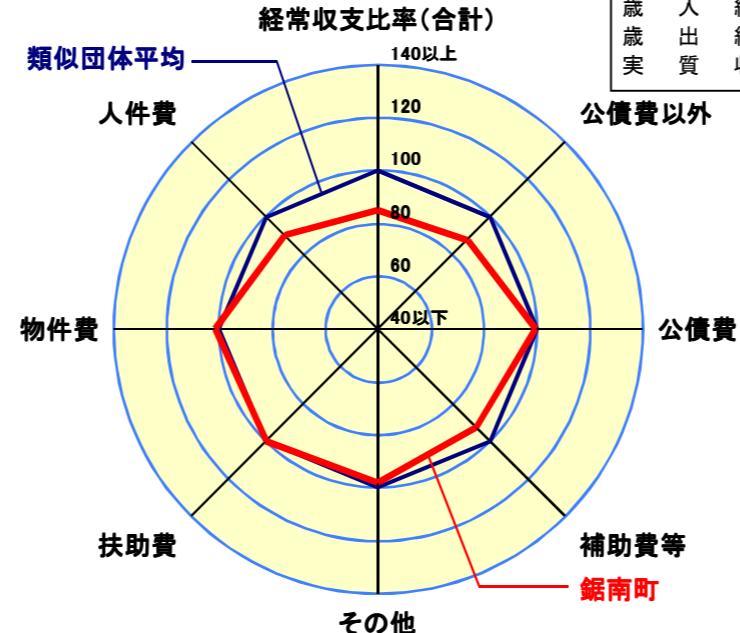
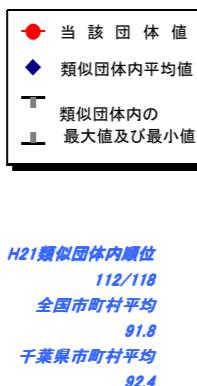
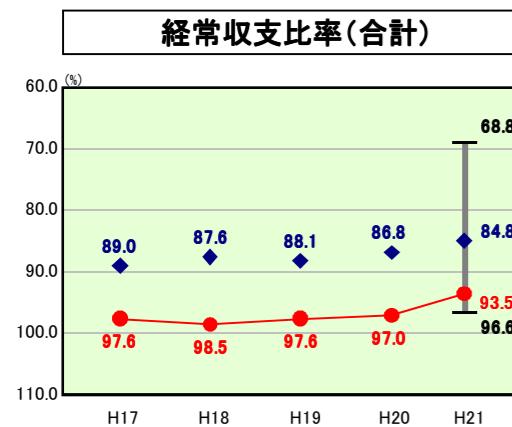


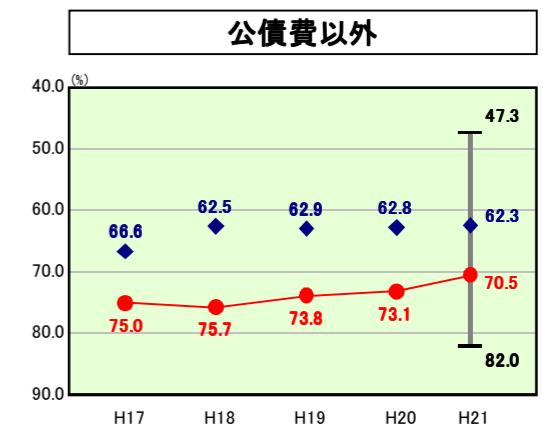
# 歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

千葉県 鋸南町

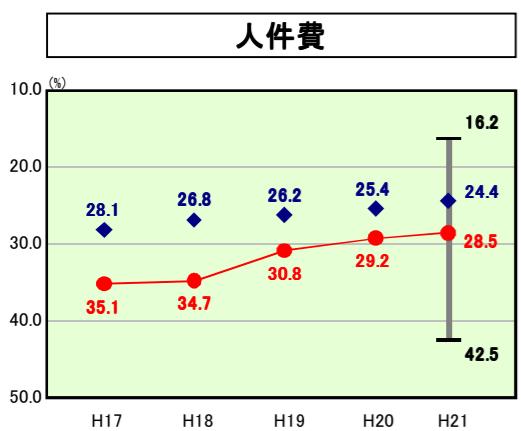
## 経常収支比率の分析



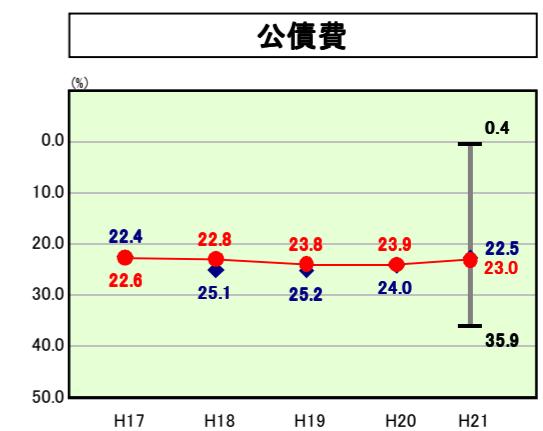
人 口 9,264人(H22.3.31現在)  
 面 積 45.16 km<sup>2</sup>  
 標 準 財 政 規 模 2,889,943千円  
 歳 入 総 額 4,333,878千円  
 歳 出 総 額 4,150,528千円  
 実 質 収 支 163,241千円



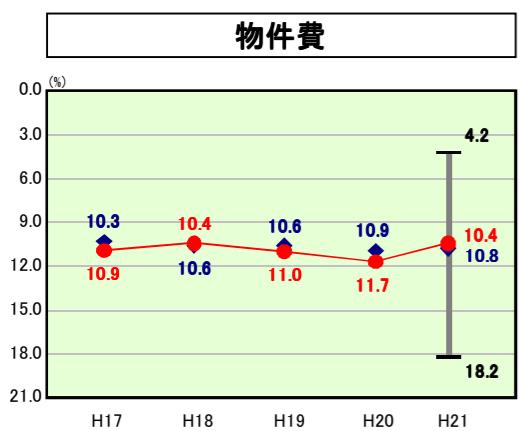
H21類似団体内順位 107/118  
全国市町村平均 71.9  
千葉県市町村平均 75.7



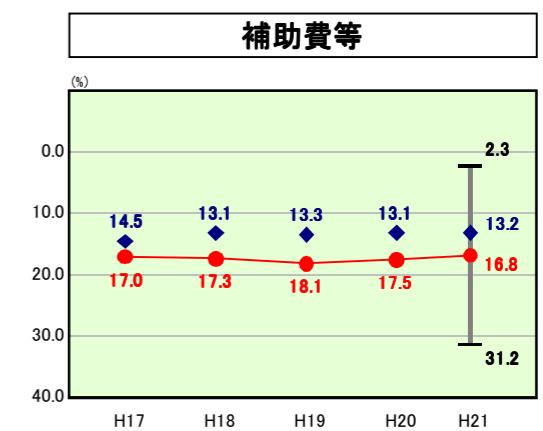
H21類似団体内順位 97/118  
全国市町村平均 28.7  
千葉県市町村平均 30.8



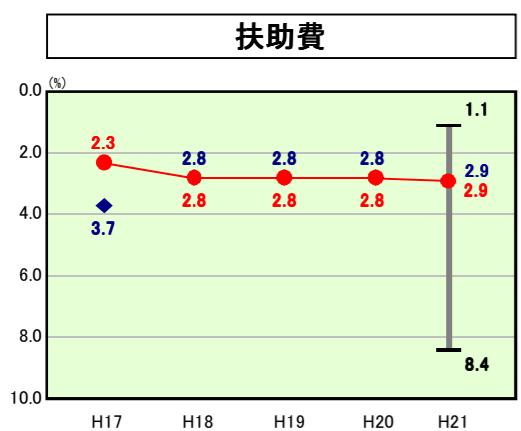
H21類似団体内順位 64/118  
全国市町村平均 19.9  
千葉県市町村平均 18.7



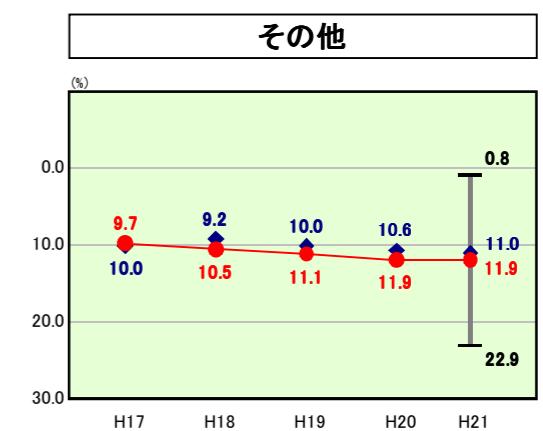
H21類似団体内順位 50/118  
全国市町村平均 13.0  
千葉県市町村平均 16.7



H21類似団体内順位 97/118  
全国市町村平均 10.5  
千葉県市町村平均 8.5



H21類似団体内順位 63/118  
全国市町村平均 9.6  
千葉県市町村平均 8.7



H21類似団体内順位 69/118  
全国市町村平均 12.1  
千葉県市町村平均 11.0

### 分析欄

#### ○人件費

類似団体と比較すると人口千人当たりの職員数は少ないので、給与水準が高いことから人件費に係る経常収支比率が高くなっている。人件費を抑制するため、集中改革プランでは退職者4名に対し1名のみの新規採用を掲げ、平成17年度から平成21年度までに22名の削減目標とし、実績では計画を上回る30名の削減となった。また、平成18年度から管理職4%、一般職3%の独自給与削減等を行っており今後も人件費の削減に努めていく。

#### ○物件費

物件費に係る経常収支比率は、類似団体の平均値とほぼ同じとなっている。また、過去からの推移はほぼ横ばいとなっているが、今年度は賃金と需用費（主に燃料費・修繕料）の減により数値が1.3%減少した。今後も事務事業の見直し等を実施し、指定管理委託の推進、教育施設等の統合を進め物件費の低減に努めたい。

#### ○扶助費

扶助費に係る経常収支比率は4年連続で類似団体の平均と同じとなっているが、額の推移を見ると増加傾向にある。これは、老人福祉関係の扶助費が増加しているためである。

#### ○補助費等

補助費等に係る経常収支比率が類似団体を上回っているのは、町が構成団体となっている一部事務組合への負担金や公営企業会計への繰出金が多額となっているためである。今後も引き続き各種団体への補助金の見直し等を行って比率の低減に努める。

#### ○公債費

類似団体の平均値とほぼ同じとなったが、全国市町村平均と比較すると3.1%高めとなっている。これは、統合中学校建設の際に借り入れた多額の起債や水道事業に係る起債の償還が続いていることが主な要因である。公債費のピークは平成25年度と見込まれており、今後も厳しい財政運営が予想される。そこで公債費負担適正化計画では、新規発行の起債はその年の元金償還額を上回らないよう計画しており、この状況は平成16年度から継続してきた。これからも地方債現在高・公債費の低減に努めていく。

#### ○その他

類似団体と比較すると0.9%高めとなっている。その要因は介護保険特別会計と後期高齢者医療に係る繰出金の増加が主な要因である。当町では高齢化率が年々増加しており、給付費を抑制するための予防事業をさらに充実させていく。

#### ○普通建設事業

人口一人あたりの決算額は、類似団体と比較し大幅に低くなっている。これは、実質公債費比率が23.3%と高いことから公債費抑制に努めるため、行政改革により投資的経費の抑制に努めた結果である。今後も引き続き普通建設事業費の抑制に努めていく。